

会議録（1）

会議の名称	令和5年度第1回入間市児童センター運営委員会
開催日時	令和5年7月28日（金） 午後1時30分開会・3時25分閉会
開催場所	入間市児童センター 集会室
議長氏名	関田 恵一 委員長
出席委員(者)氏名	関田恵一委員長 吉野正昭副委員長 竹野谷久江委員 生田由紀子委員 富井 弘委員 中平貴美子委員 村川蘭子委員 佐々木佳菜委員
欠席委員(者)氏名	なし
説明者の職氏名	青少年課 主査 小野貴大 指定管理者 (株)コマーム
会議次第 (公開・非公開の別)	<p>I 委員委嘱式</p> <p>1 委嘱状の交付</p> <p>2 部長挨拶</p> <p>3 自己紹介</p> <hr/> <p>II 運営委員会</p> <p>1 開会</p> <p>2 委員長、副委員長の選出について</p> <p>3 正副委員長挨拶</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 入間市児童センター運営委員会委員について</p> <p>(2) 令和4年度入間市児童センター事業報告について</p> <p>(3) 中高生の居場所について</p> <p>(4) プレーカーの利用促進及び維持について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
非公開理由	一
傍聴者数	なし

配 布 資 料	1 令和 5 年度入間市児童センター運営委員会委員委嘱式次第 2 令和 5 年度第 1 回入間市児童センター運営委員会次第 3 入間市児童センター運営委員会委員名簿 4 入間市児童センター運営委員会委員について（資料 1） 5 令和 5 年度入間市児童センター要覧 6 中高生の居場所について（資料 2） 7 プレーカーの利用促進及び維持について（資料 3）
事務局職員職氏名	こども支援部部長 齋藤 忠士 青少年課課長 中林 健 青少年課主査 小野 貴大 青少年課主事 水鳥 香葉 株コマーム代表取締役社長 小松 秀人 株コマーム第 2 事業部長 笹野 晋助 株コマーム第 2 事業部課長 小田 健一 児童センター所長 吉野 勝 児童センター所長補佐 中田 愛永
会議録作成方法	要点筆記

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

入間市児童センター運営委員会委員委嘱式

- 1 部長より、入間市児童センター運営委員会委員委嘱状を各委員へ交付した。
(5月1日付、R 5. 5. 1～R 7. 4. 30)

第1回入間市児童センター運営委員会

- 1 正副委員長が決定した。

委員長 関田 恵一

副委員長 吉野 正昭

- 2 議事として事務局より以下4点について説明した。

- (1) 入間市児童センター運営委員会委員について
- (2) 令和4年度入間市児童センター事業報告について
- (3) 中高生の居場所について
- (4) プレーカーの利用促進及び維持について

会議録(3)

発言者	発言内容
中林課長	1 開会
部長	2 委員長、副委員長の選出
正副委員長	3 正副委員長挨拶 4 議事
関田委員長	本日は8名の委員全員に出席していただいているので、会議は成立する。また、会議の公開が原則になっており、今回の議題をみても公開することで著しい支障が生じることは予想されないことから、公開することとしたいがよいか。
一同	(異議なし)
関田委員長	特に皆さんからなければ公開するということで進める。 次に、傍聴される方はあるのか。
水鳥主事	本日は傍聴の希望はない。
関田委員長	会議録の署名について、私のほか1名を指名させていただく。名簿順に行い、今回は竹野谷委員にお願いしたい。 それでは、議事に入る。
	はじめに(1)入間市児童センター運営委員会委員について、説明願いたい。
小野主査	(1)入間市児童センター運営委員会委員について説明
関田委員長	質問等あればお願いする。 なければ、続いて、(2)令和4年度入間市児童センター事業報告について、説明を願う。
コマーム	(2)令和4年度入間市児童センター事業報告について説明
関田委員長	質問等あればお願いする。
竹野谷委員	今日から博物館でキッズアートが始まっているのですが、教職員の負担を減らすということで、学校に紙ベースで配信ができないので、こども達の参加人数が少ない。いま見させていただいた児童センターの事業

発言者	発言内容
コマーム	<p>というのはどのように広報を行っているのか。</p> <p>基本的には本日もお配りさせていただいた毎月発行している児童センターだより。教育委員会、学校を通してリーバーから基本的には web で発信ということが指示されており、教職員の方の負担にはなってしまっているのですけれど、紙ベースでやらせていただいております。なるべくふりがなをふって、こどもに読んでもらう工夫をしております。児童館の特性としまして、こどもが自らの意思で一人でも利用することができるというものがありまして、まずこどもに読んでもらうことが必要と思われますので、紙ベースで行っております。それ以外には市の広報、ホームページ、インスタなどで広報を行っております。出張児童館は開催される学校に応じてチラシを作つてお配りしております。児童センターだよりも小学生向け、乳幼児向け、年齢に応じたものを作成し、配布しております。</p>
竹野谷委員	<p>中高生の居場所というところでは、入間市の中でも児童センターは先端を行つているなど感じます。各中学校に児童センターでこういうイベントがあるからお手伝いに来てという働きかけも行っており、場所的にも安全で恵まれているのかなと。中高生の居場所という点で、よく考えられていて感心させられます。</p>
吉野委員	<p>無線クラブで親とかボランティアがどんな職業をしているか、無線クラブなので、電子関係に興味を持っている子も多いのですけれども、いま半導体が不足しているのはなんでなんだろうとか、職業体験のようなことをやってみてもと思っています。高校生にもなると将来の進路というところでもいいのではないかなと思っております。</p>
関田委員長	<p>学校で今、小中学生のタブレットというものがありますけれども、ホームページを閲覧することもできるのか。</p>
富井委員	<p>こどもたちは毎日家から、学校を往復しますが、タブレットを持ち帰りなさいという指導をしておりますので、タブレットを使ってこどもた</p>

発言者	発言内容
	<p>ちに情報発信することは有効だと思っています。色々制約はあるのですがけれども、こどもたちにダイレクトに情報発信できるのはリーバーよりもタブレットに働きかけることだと思います。リーバーは情報量が多すぎて保護者があまり見なくなっているのが現状です。</p>
関田委員長	<p>それでは続いて、(3)中高生の居場所について、説明を願う。</p>
小野主査	<p>(3)中高生の居場所について説明</p>
関田委員長	<p>コマームさんの方でいろいろなネットワークがあることですし、色々実施されていることですので中高生の居場所について事例等あればお話しitいただきたい。</p>
コマーム	<p>入間市もですが、だいたいの児童館の運営が18時までということで中高生がなかなか来られないということで、時間の延長や中高生専用の部屋を設けるという事例はあります。また、小学生の時から児童館に来ていただき、繋がりを持ち、中高生になって、小学生の面倒を見る。そういう継続性も必要と考えます。児童館というインフラを今後新しく作っていくことは難しいので、空いている公民館を居場所として提供して、児童館のアウトリーチを派遣型でやるとか、児童センターだけでは難しいことですので、地域のボランティアの方にご協力いただいて居場所を作っていく。というようなものがございます。先ほど吉野委員よりお話をありました職業体験というようなものですが、中高生向けのものはコマームとしてもやっておりませんでしたので、入間の企業、入間のボランティアの方と一緒にできたらと考えております。</p>
富井委員	<p>中学生につきましては、部活動の地域移行というものが言われておりますが、あまり入間市では進んでいないように感じます。運動部は難しいにしても文化部あたりをターゲットにして吹奏楽部、茶道部、PCですか、そういうこどもたちが児童センターに来て何か発信できるようなものを考えてみたらいいのではと思いました。中高生は自分のゲームやスマートの世界で放課後の時間は結構満足しているような気がします。</p>

発言者	発言内容
コマーム	児童館のホームページは中高生をターゲットしたようなものになっているのか。その辺りも少しお伺いしたかったところです。
竹野谷委員	中学校の部活という話では所沢みどり児童館で近隣の中学校の部活の子達を集めて文化祭的なことをやっており、入間市の児童センターでもやりたいと考えています。実際に市内の中学校、高校の吹奏楽部は産業文化センターで集まってやっているのを聞いたことがあるので、吹奏楽部以外の共通の部活が集まって発表の場があればと考えています。 子ども会が全国的に減ってしまい、以前は、子ども会が中高生に憧れてジュニアリーダーになるという流れがあったのですが、コロナ禍でイベントができなかつたということもあり、ジュニアリーダーの活躍の場が無かつたりして、今年度は万燈まつりがコロナ禍、以前の規模で行われるということですので、Fun-go マッシェという子どもたちの遊びの場があるのですが、スタッフが高齢化しているので、中学生、高校生にサポートしていただけとありがたいなと思い、これから、中学校、高校にお願いに回りたいと思っています。児童センターからも発信していただけるとありがたいと思います。各地で行われている従来のイベントも大人たちというより、こどもを中心にという発想に変わりつつあると思うので、こどもたちへの発信をうまくしていかなければいけないかなと思います。
佐々木委員	中高生の親という立場でお話しさせていただくと、リーバーでは情報が親で止まってしまい、こどもに情報が行きわたらない、こどもたちが欲しい情報だろうなと思っても親が忙しいと伝えられず、イベントの情報とか沢山来ますが、それをいかにこどもに伝えられるかだと思っています。先ほどタブレットに直接にというお話がありました、こども専用に情報を出したほうがこどもに情報が伝わると思います。
関田委員長	今の話を聞いていると今後、色々な所との連携が必要だと思います。
村川委員	中高生の利用が少ないという要因の1つに部活動など中高生の生活

発言者	発言内容
中平委員	<p>と、児童センターの開館時間が合っていないことがあると思います。開館時間を延長している日があるので、うまく中高生に発信することが必要だと思います。中高生が児童センターに興味を持っていただけような情報の発信の仕方をした方がよいと思います。イベントなども中高生が目標を持って参加できるものを検討した方が良いと思います。</p>
生田委員	<p>移動児童館ももっと中学生にも届くような形で実施してはどうか。テスト期間中に中高生が児童センターに来ているとあったが、テスト期間中だけではなくて、音楽や文化的なものをこの日の何時から何時まではこれと抽象的ではなくて、具体的に決めて取り組むことで、中高生を取り込むような工夫をしてはどうか。</p>
関田委員長	<p>前から児童センターを利用していた中高生を取り込むというようなことはできると思うが、新規にというとなかなか難しいのかなという思いもあります。児童センターで出会ったこども同士が、児童センターに来たらまた会えるよねというような場になればいいのかなと思います。</p>
小野主査	<p>まだまだ、ご意見もあると思いますが、時間の都合もありますので、続いて、(4)プレーカーの利用促進及び維持について、説明を願う。</p>
関田委員長	<p>(4) プレーカーの利用促進及び維持について説明 委員さんの中でプレーカーの利用をされた方ご覧になった方はいらっしゃいますか。ご覧になつていかがでしたか。</p>
佐々木委員	<p>まとまって色々おもちゃに触れ合えるので、こどもたちも興味をもつて遊んでいるのかなと思います。児童センターでは広くて何から手に取って遊んでいいのかを感じますが、まとまっているのではぱっと遊べる。児童館を知るという意味ではいいものかなと思います。</p>
関田委員長	<p>先ほど、中高生というお話があったが、中高生を対象とするとなるとどのようなものになるのだろうか。イメージありますか。</p>
コマーム	<p>文化的な活動のイメージでしょうか。基本は遊びを届けるものですが、小学生では水遊び、体育館でドッジボール、遊び道具を持って</p>

発言者	発言内容
	行って遊ぶような感じですけれども。中高生と話をしてみて、どうしたら児童センターに遊びに来てくれるかという質問をしてみますけれども、いきなりは来られない。部活動で忙しいし習い事とか色々なものが詰まっているし、いきなり足を運ぶには敷居が高いという意見を持っている。ただ何かが用意されていて、そこに行くというよりはスペースがあってただただ友達と同じ時間を共有する。お互いに何かするのではなく、隣でくっついているだけでいいという意見もあったりするので、いま児童センターでもそういうようなスペースの確保に力をいれているのですけれども、プレーカーを使って遊びを届けることもありますけれども、スペースがあるよということだけでも集まってくれるのかなと思います。
村川委員	中高生は学校帰りにみんなと話しながら帰るような時間が必要だが、その場所というのが少ない。プレーカーもカフェみたいに中高生にくつろげるようなスペースとして提供できればいいのではないか。地域のボランティアの方がそこに来て話を聞いてくれるだとか、相談に乗ってくれるような活用方法ができればいいのではないか。
生田委員	何気なくその場にいて、お話ししてくれるというような居場所が必要なのではないか。
関田委員長	以上で議事は終了となるが、何か意見等はあるか。 なければ、これで議長の任を解かせていただく。 ありがとうございました。
中林課長	次回会議は、2月中を予定している。日程については今後委員長、副委員長、事務局で調整させていただく。委員の皆さんには追ってご連絡する。
	次に5その他、事務局から何かあるか。
事務局	(特になし)
吉野副委員長	令和5年度第1回入間市児童センター運営委員会を終了する。

発言者	発言内容
議事のてん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
令和5年9月8日	
議長の署名	<u>関田 恵一</u>
議長が指名した者の署名	<u>竹野谷 久江</u>